

特集：大学説明会

学生による大学説明 —AC入試の極意—

下山 せいら（筑波大学 生物学類 2年）

生命環境学群 生物学類 2年 下山せいらと申します。これから、『AC入試の極意』についてご説明いたします。AC入試の形式、日程などは変更になることがありますので、参考程度でお願いします。

AC入試はまず、願書の提出から始まります。9月の中旬が提出日となっています。私は高3の夏休みから、準備を始めました。提出書類には、志願理由書、添付資料、その他受験に必要な書類があり、それらをまとめて送ります。志願理由書は800字以内と字数制限があります。私は高校の先生に何度も添削していただきました。添付資料は、高校での実績と成果をまとめたものすべてを提出します。レポート、CD-ROM、ビデオテープ、賞状のコピーなどが添付できます。添付したものは返却できないようなので、絶対に実物やナマモノは添付しないでください。これらの書類で1次選考が行われます。

次に面接です。面接は1次選考を通過したヒトが筑波大学で10月の中旬頃受けることになります。面接時間は30分間です。面接では、まず、高校での実績と成果についてざっと説明します。この説明に必要な図やグラフなど、面接官に見せられる形にしておくと言います。この内容に対する質疑応答や、なぜ、筑波大学に入学したいかなどが面接で聞かれます。

面接が30分間もあると言うことで、長いと感じられた方もいらっしゃると思います。しかし、今までやってきた活動がたった30分で語り尽くせることでしょうか!?逆に、アピールする時間が多いのですから、熱く語ってください!!実際私の30分は、あっという間でした。

そして、面接対策です。何度も面接の練習をしましょう。本番緊張しないのは難しいことですが、練習によってある程度は落ち着いてできるようになります。そして、必ず自分の意見を持ち、その理由も答えられるようにします。どんな質問にでも答えられるくらいの気持ちになるまで練習しましょう。また、アピールポイントをまとめておくと、本番でも落ち着いて答えられます。

合格発表は生物学類のHPでも公開されますが、筑波大学でも張り出されます。可能ならば是非、見に行ってください。私の時は、私しか見に行かなかったのですが、10人くらいの先生方が合格発表の準備をしていました。

AC入学者は希望すれば、研究室特別研究生として1年次から研究室に所属できます。研究の続きを行ったり、研究室のパーティーにも参加できます。通常4年次から始まる卒研の前に、研究室の雰囲気を知ることができます。

最後に筑波大学を受験するみなさんへ。大学で何をしたいですか?大学はやりたいことができる場所です。自分で責任をもって行動し、すべて自分で決めるのです。様々なことにチャレンジしてください!

AC入試についてのご質問やご相談は、総合研究棟A1階エレベーター前で行っております。ぜひお立ち寄りください。

これで『必見!! AC入試の極意』を終わります。ご静聴ありがとうございました。

Communicated by Shinobu Satoh, Received July 29, 2008.